

復活節第2主日 B年

(神のいつくしみの主日)

イエスとトマス

モザイク

イタリア モンレアーレ大聖堂
12世紀



信じない者ではなく、信じる者になりなさい

(ヨハネ 20・27より)

聖書と典礼 2021.4.11

復活節第二主日 神のいつくしみの主日 (白)

入祭の歌 (歌わない場合は下の入祭唱を唱える)

集会祈願

あわれみ深い神よ、あなたは、キリストのとうとい血によってわたしたちをあがない、水と聖霊によって新しいのちを与えてくださいます。年ごとに主の復活を祝うわたしたちが洗礼の恵みを深く悟り、信仰に生きるこ

とができますように。

聖霊の交わりの中で、あなたとともに世々に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

使徒たちの宣教 (使徒言行録4・32-35)

32 信じた人々の群れは心も思いも一つにし、一人として持ち物を自分のものだと言う者はなく、すべてを共有していた。33 使徒たちは、大いなる力をもって主イエスの復活を証しし、皆、人々から非常に好意を持たれていた。34 信者の中には、一人も貧しい人がいなかった。土地や家を持って



入祭唱 (一ペトロ2・2)

乳を求めるみどりごのように、
あなたがたは
いのちのかてを求め、
救いを得よ。アレルヤ。

第一朗読

信じた人々の群れは心
も思いも一つにした

〔誕生したばかりの教会共同体の一致の姿を伝える箇所。2・43-45にも同様の記述がある〕

答唱詩編 (詩編118)

〔復活の八日間のしめくくりとして、きょうも復活の主日

いる人^{ひと}が皆^{みな}、それを売^うつては代金^{だいきん}を持^もち寄^より、³⁵使徒^{しと}たちの足^{あし}もとに置^おき、その金^{かね}は必要^{ひつよう}に応^{おこ}じて、おのおのに分配^{ぶんぱい}されたからである。

答唱詩編（詩編118・1+2、16+17、22+23）^{〔典〕} 87 ① ② ③

恵み深い神に感謝せよ。そのあわれみは永遠。

イスラエルよ、「叫べ。神のいつくしみは絶えることがない。」

「神の右の手は高くあがり、その右の手は力を示す。」
わたしは死なず、わたしは生きる。神のわざを告げるために。

家造りの捨てた石が、隅^{すみ}の親石^{おやいし}となった。

これは神のわざ、人の目には不思議なこと。

使徒^{しと}ヨハネの手紙^{てがみ}（一ヨハネ5・1-6）

1「愛^{あい}する皆^{みな}さん、」イエスがメシアであると信^{しん}じる人^{ひと}は皆^{みな}、神^{かみ}から生^うまれた者^{もの}です。そして、生^うんでくださった方^{かた}を愛^{あい}する人^{ひと}は皆^{みな}、その方^{かた}から生^うまれた者^{もの}をも愛^{あい}します。²このことから明^{あき}らかなように、わたしたちが神^{かみ}を愛^{あい}し、その掟^{おきて}を守^{まも}るときはいつも、神^{かみ}の子供^{こども}たちを愛^{あい}します。³神^{かみ}を愛^{あい}するとは、神^{かみ}の掟^{おきて}を守^{まも}ることです。神^{かみ}の掟^{おきて}は難^{むづか}しいものではありません。



と同じ詩編が歌われる。ペトロはこの詩編（22節）を引用して、イエスが死者の中から復活したことを宣言した（使徒言行録4・11）。答唱句は24節から採られている」
22家造りの捨てた石が……
「隅の親石」は家の土台となる大切な石。人には捨てられたが、神によって復活させられたキリストこそ、この石である。

第二朗読

神から生まれた人は
皆、世に打ち勝つ

〔わたしたちのために命を捨ててくださったイエスの愛の勝利にあずかる道が示される〕
2 掟 この手紙でいう神の掟とは「互いに愛し合うこと」にほかならない（ヨハネ13・34、15・12。一ヨハネ3・23、4・21参照）。

4 神から生まれた人は皆、世に打ち勝つからです。世に打ち勝つ勝利、それはわたしたちの信仰です。5 だれが世に打ち勝つか。イエスが神の子である^{しん}と信じる者^{もの}ではありませんか。

6 この方は、水と血を通して来られた方、イエス・キリストです。水だけではなく、水と血とによって来られたのです。そして、「^{れい}霊」はこのことを証^{あか}しする方^{かた}です。「^{れい}霊」は真理だからです。

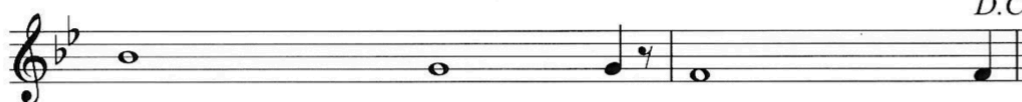
続 唱 (任意) 典 351 「復活の続唱」

アレルヤ唱 (ヨハネ 20・29) 典 264 (第二主日) (下の楽譜)

ヨハネによる福音 (ヨハネ 20・19-31)

19 その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。20 そう言って、手とわき腹とお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。21 イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」22 そう言うてから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。23 だれの罪でも、

D.C.



トマよ あなたはわたしを見たので信じた 見ないで信じる人は 幸い

6 水と血 「水」はヨルダン川での洗礼、「血」は十字架を指すと考えられる。
「^{れい}霊」 聖霊のこと。

福音朗読

八日の後、イエスが来られた

「ヨハネ福音書で、復活したイエスが男の弟子たちに初めて姿を現す箇所。復活の日(つまり、ペトロたちが空の墓を見た日)の夕方の出来事と、それから一週間後の出来事」

19 週の初めの日 今の日曜日。

26 節の「八日の後」も同じく日曜日にあたる。

平和があるように 平和は、欠けたもののない状態を意味する。ヨハネ 14・27で「わたしの平和を与える」と約束されていた。

20 手とわき腹 手には十字架に釘づけられた傷、わき腹

あなたがたが赦せば、その罪は赦される。だれの罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る。」

24 十二人の一人でディディモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった。25 そこで、ほかの弟子たちが、「わたしたちは主を見た」と言うとき、トマスは言った。「あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れてみなければ、また、この手をそのわき腹に入れてみなければ、わたしは決して信じない。」26 さて八日の後、弟子たちはまた家の中におり、トマスも一緒にいた。戸にはみな鍵がかけてあったのに、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。27 それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。また、あなたの手を伸ばし、わたしのわき腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」28 トマスは答えて、「わたしの主、わたしの神よ」と言った。29 イエスはトマスに言われた。「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は、幸いである。」

30 このほかにも、イエスは弟子たちの前で、多くのしるしをなさったが、それはこの書物に書かれていない。31 これらのことが書かれたのは、あなたがたが、イエスは神の子メシアであると信じるためであり、また、信じてイエスの名により命を受けるためである。



アレ ル ヤ ア レ ル - ヤ ア レ - - - ル - - ヤ -

- ※信仰宣言
- 説教の後に歌うか唱える。
- 22 には槍で貫かれた傷がある。22 息を吹きかけて 聖霊を与えることを表す動作。創世記 2・7 参照。なお、聖霊を与える約束についてはヨハネ 14・16・17 参照。
- 23 だれの罪でも…… マタイ 16・19、18・18 参照。
- 24 ディディモ ギリシア語で「双子」の意味。「トマス」はアラム語でやはり「双子」を意味する。
- 28 わたしの主、わたしの神よ 詩編 35・23 参照。
- 29 見ないのに…… 出現したイエスに出会わないで、使徒たちの証言を受け入れる後の時代の人々のことを言う。
- 30・31 このほかにも…… 本来のヨハネ福音書の結びのことばと考えられる（21章は後で書き加えられた）。